

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	広島国際学院大学	個人・グループ名	竹丸 秀明	作品名	門松
-----	----------	----------	-------	-----	----

1. 製作の動機または目的
 - a. このコンテストのことを最近知り、今の時期に適した作品を作ってみようかと思った。
 - b. 旋盤等を利用し様々な加工ができることを示し、金属加工における工夫・創造・楽しさを形に表したかった。
 - c. 中学校の技術科で旋盤のような簡単な機械加工を学んでおれば、生徒は工学部などにもっと関心をもち、理工系離れなどが起こらないのと思った。
2. 利用方法

新年を迎えるにあたって、玄関内の飾り台や、机の上に置き、技術を学んでいるものとしての志を新たにす。
3. 作品自体やその製作過程で工夫したこと
 - a. このコンテストを知ったのがつい最近ということもあり、製作時間20時間という短い間で設計、製作をしたこと。
 - b. 技術の素材や加工方法は、金属が基本なので、金属のみで作品を作ろうとしたこと。
 - c. そのために、竹の部分も旋盤で表現しようとしたこと。(図1)
 - d. すべて、廃材を利用しようとしたこと。
 - e. 土台の部分のわら(銅)をばらばらにならないように銅線できつく巻く作業が意外に困難でした(図2)



図1 竹の形にしてネジ切り



図2 全体図



図3 旋盤加工をした部品